

令和4年11月7日

静岡県社会部記者室 御中

国立大学法人静岡大学

## 静岡市駿河区に「みんなのチャレンジ基地 ICLa（イクラ）」開設

静岡大学、アイザワ証券株式会社（本社：東京都港区）、静岡鉄道株式会社（静岡市葵区）、NPO 法人 ESUNE（静岡市駿河区）の連携により、静岡市駿河区小鹿に「みんなのチャレンジ基地 ICLa（イクラ）」が開設された。

「みんなのチャレンジ基地 ICLa（イクラ）」は、「挑戦と応援が循環する、チャレンジにやさしい静岡」を目指し、大学生をはじめとした若者一人一人の、自分らしいチャレンジを後押しする拠点として、若者が希望を持って社会を冒険していく「基地」をコンセプトとしている。

現在、日本型のスタートアップ・エコシステムの拠点形成と発展を支援する取組が国主導で拡大され、静岡大学もイノベーション社会連携推進機構が中心となり、名古屋大学などと連携して、次世代の起業家を育成・支援する「Tongali プロジェクト」を推進している。一方で新型コロナの影響もあり、大学生は経済的負担の増大や留学や進学への断念などさまざまな影響を受けており、「何かやってみたい」「今の学生生活を変えたい」と考える学生が一步を踏み出す機会が失われている。

静岡大学では、2015年に包括連携協定を結んだアイザワ証券株式会社の提供で2018年から起業・ビジネス人材育成ゼミ（アイザワゼミ）を開講しており、同社のアイザワゼミの支援の一部を今年度 NPO 法人 ESUNE に委託し、静岡キャンパスでの「Tongali プロジェクト」推進を図りながら、学生主体の活動へのコーディネートとサポートを拡大する。NPO 法人 ESUNE の代表理事天野浩史氏は30代の静岡大学の卒業生・起業家でもあり学生から年齢も近い。また、学生主体の活動は学生自身のキャリア形成にもつながることから、コーディネートとサポートには、起業経験のある静岡大学学生支援センターの教員も伴走する。

「みんなのチャレンジ基地 ICLa（イクラ）」開設にあたっては、静岡鉄道株式会社が静鉄沿線の活性化に取り組む「しずてつ未来プロジェクト」の一環として同所の賃貸物件を借り上げ、サブリースを行い、NPO 法人 ESUNE を施設管理・運営面でサポートしていく。

NPO 法人 ESUNE の指導のもと、すでに約10名の学生スタッフが施設運営や活動支援の役割を担い、学生主体・中心の拠点としてイベントやプログラムも計画されているほか、「サポーター制度」の募集も始まり、挑戦と応援が循環する仕組み作りも始まっている。

今回開設に関わる連携機関では、チャレンジの一步を踏み出せる環境を大人と若者が共につくることで若者の力を引き出し、地域の人材育成に貢献できることを期待しており、単に学生の活動拠点というだけでなく、地域企業が人材確保、定着のヒントを学生から学べる場所、県外大学に進学した学生が地域の社会人と接点を持てる場所としての活用も視野に入れている。



お問い合わせ先

部局名 静岡大学学生支援センター

担当者 宇賀田栄次

TEL 054-238-4985

メールアドレス ugata.eiji@shizuoka.ac.jp